

## 2023 年度 NU-RU Visiting Researchers Program (受入スキーム) 募集要項

本大学は 2019 年に米国・ノースウェスタン大学 (2022 年世界大学ランキング QS : 30 位、THE : 24 位。以下、NU。) バフェット研究所と協力協定を締結し、教員・研究者の交流を行うことを確認した。以来、様々な分野・レベルで両大学研究者の連携が生まれ、研究成果創出がなされている。両大学の連携の裾野を一層拡大し、峰を高めるための具体の方策として 2022 年度より NU-RU Visiting Researchers Program を開始し、2023 年度も引き続き実施する。

以下の通り、NU 研究者と本大学研究者による共同研究の計画を公募する。

### 1. 本プログラムの目的

本大学の研究者と NU 研究者との学術的な連携を推進し、その連携を通じて国際共著論文を發表する。さらには将来的な国際共同研究や海外グラントの獲得へ繋げることで本大学の国際レピュテーションの向上を図る。

### 2. プログラムの内容

本プログラムは NU 研究者 1 名が本大学に最長 3 カ月滞在する実地フェーズと両研究者が自国に留まったまま研究を遂行するリモートフェーズから成る。リモートフェーズはさらに実地フェーズの前の準備段階として位置付ける Pre 期と、実地フェーズを経て具体の成果発信や学術連携を次段階へ発展させることを目的とする Post 期に分け、確実な成果創出を支援する。ただし、Pre 期を経ずとも実地フェーズへの応募は可能であり、実地フェーズ後の Post 期への応募も必須ではない。

研究活動支援費は国内交通費、翻訳費用、資料製本費、ワークショップ開催費用、論文校閲費、論文投稿料などの費用に充当する。

いずれの場合も、本大学研究者は NU 研究者のホスト研究者となる。また、年度内の研究実施報告書提出を必須とする。

各フェーズの実施後、論文投稿までの進捗を確認するために適宜プログラム・アドバイザー (研究部長、もしくは研究部長が指名する学内研究者) との面談を実施する。

フェーズ(期)	本大学が負担する経費			義務	採択件数 ※3
	渡航費 (往復)	住居費	研究活動 支援費		
実地	実費 ※1	実費 ※2	50 万円まで	滞在期間中にワークショップを開催する。翌年度に Post 期へ応募しない場合は実施後 2 年以内に国際共著論文を投稿する。	2 件程度
リモート	Pre	n/a	50 万円まで	実施期間中にワークショップを開催する。翌年度に実地フェーズへ応募しない場合は 2 年以内に国際共著論文を投稿する。	2~5 件程度
	Post	n/a	20 万円まで	実地フェーズの翌年度に実施し、実施後 1 年以内に国際共著論文を投稿する。	

※1 エコノミークラスのみとする

※2 月額上限 14 万円を目安とする

※3 日米両国の入国制限等の状況に鑑みて、予算総額の範囲内で採択件数の内訳を変更することがある

### 3. 応募資格

<ホスト研究者>

職位が本大学の教授・准教授・特別契約教員 (教授・准教授)・任期制教員 (教授・准教授・講師・助教)・特別招聘研究教員 (教授・准教授)・特任助教・初任助教・助手<教員系列のみ>のいずれかであり、2025 年度末まで雇用期間があることを基本とする。

<NU 研究者>

NU との雇用契約を有する研究者であれば、所属・職位は問わない。

### 4. 審査手続

- (1) NU-RU Visiting Researchers Program 審査委員会を設置し、審査委員による書面審査を実施する。
- (2) 審査委員会を開催し、採択者を決定する。

(3) 採択結果を研究委員会に報告する。

## 5. 審査基準

- (1) 創出される研究成果は国際的な学術誌で評価を得られる提案内容となっているか
- (2) 推進計画・研究方法は妥当であるか、またそれを実施する内容となっているか
- (3) プロジェクトの到達目標が明示されているか
- (4) ホスト研究者と NU 研究者が研究計画を遂行できる能力、および、当該研究の準備状況が具体的に示されているか

## 6. 重複制限

- ・ 同じ研究者の組み合わせで過去に採択されたフェーズ・期 (Pre/Post) へ応募することはできない。

## 7. 留意事項

<全般>

- ・ NU との交流の礎は NU バフェット研究所と立命館アジア・日本研究機構間で締結している協力協定であることから、ホスト研究者は NU 研究者を立命館アジア・日本研究機構の客員研究員として受入れる。
- ・ 本プログラムによる支援期間終了後は、研究部による「国際共同研究促進プログラム」や学振の外国人研究者招へい事業、二国間交流事業などのスキームを活用し、研究の更なる発展に努めること。
- ・ ホスト研究者は当該年度に実施される QS 社学術者評価アンケートの回答者として NU 研究者を推薦しなくてはならない。ただし、過年度に推薦済みの場合はその限りではない。

<実地フェーズ>

- ・ 受入期間は 2023 年 4 月～2024 年 3 月のうち、3 ヶ月以内を基本とする。具体的な受入日程については、NU 研究者の希望等を考慮の上で個別調整を行う。3 ヶ月の期間内であれば帰国・再来日を認めるが、渡航費は 1 往復分しか助成しない。また、研究活動支援費からの執行も認めない。
- ・ ホスト研究者の所属キャンパス内に、研究部が NU 研究者の研究スペースを準備する。
- ・ NU 研究者の住居確保や生活相談、医療通訳など、日本滞在中の生活基盤形成に関する事柄については研究部が提供するサポートを受けることができる。

## 8. 応募方法

所定の応募書類 3 点を下記提出先までメール提出のこと。

- (1) 申請書
- (2) ホスト研究者業績書 (研究者 DB から、過去 5 年間の研究業績一覧 (著書、論文、研究発表等) をデータ出力する)
- (3) NU 研究者履歴・業績書 (様式自由)

提出期限：2023 年 7 月 31 日 (月) 正午

提出・お問合せ先：[aji-res@st.ritsumei.ac.jp](mailto:aji-res@st.ritsumei.ac.jp) 研究部 RARA オフィス 中川

- ・ 応募する研究テーマや NU 研究者の専門分野に制限を設けない。
- ・ NU 研究者とのマッチングに係る相談も上記事務局まで連絡のこと。必要に応じて NU バフェット研究所とアジア・日本研究所が調整を行う。

## 9. 募集・審査スケジュール (予定)

募集期間	2023 年 6 月 26 日 (月) ～2023 年 7 月 31 日 (月) 正午
書面審査	2023 年 8 月 1 日 (火) ～2023 年 9 月 1 日 (金)
採否通知	2023 年 9 月 7 日 (木)
研究委員会にて報告	2023 年 9 月 22 日 (金)

初回の募集期間を 2023 年 6 月 26 日 (月) ～7 月 31 日 (月) 正午とし、以降は 随時申請を受付ける。ただし、本プログラムの予算の関係上、年度途中で受付を終了する場合がある。

以上